



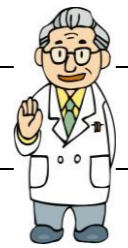


婦人科手術を受けられる患者様へ ()様 主治医()医師 説明担当看護師()







| | | 準備 | 手術1日前 | 当日 術前 | 当日 術後 | 手術後 (急性期) 術後1日目 |
|-------|--------------|--|---|---|---|---|
| 達成目標 | | <p><持ち物></p> <p>直後パット 1セット ナプキン数個 腹帯 2枚 前開きのネグリジェ又は和式の寝間着</p> <p>バスタオル2枚 (白に近い出来るだけ無地の物)</p> <p>お茶やお水のペットボトル それに使用する曲がるストロー 又は吸飲み</p> <p>普段使用されている薬 (1日分) お薬手帳</p> | 治療・副作用について理解できる。 心も身体も問題なく手術に臨むことができる。 | | <p>痛み止めの薬を使用して痛みを和らげることができる。 全身の状態が安定している。 創からの出血がない。 手術の合併症がない。 吐き気などの副作用が薬を使って和らげることができる。</p> | <p>全身の状態が安定している。 手術後の合併症がない。 創からの出血がない。 皮下に入っている管が抜ける。 尿の管が抜け尿が出る。 排ガスがある。 痛み止めの薬を使用して痛みを和らげることができる。 吐き気などの副作用が薬を使って和らげることができる。</p> |
| 薬剤 | | | 寝る前に下剤を内服します。 | | 痛み止めの薬(座薬・注射など)など症状にあわせて使います。 | 吐き気止めの内服薬 痛み止め(とんぶく・注射) 毎食後痛み止めの内服薬があります |
| 注射・点滴 | | | | 朝9時ごろより点滴が始まります。 手術の翌朝まで点滴は続きます。 | 持続で痛み止めの薬が1~2日後まで入ります。 | 朝と夕に点滴があります。 |
| 処置 | | | 陰部の毛を剃ります。  | 朝に浣腸を行います。 便が出たかお知らせください。 | 酸素マスクをつけてベッド上で過ごします。 | 回診で全身の状態や創部の診察をします。 |
| 検査 | | | 超音波検査・内診をします。 |  | 蓄尿開始。退院まで蓄尿をします。 | |
| 安静度 | | | 手術当日、術前までは病棟内は自由です。 |  | ベッド上で横になったまま安静に過ごします。(寝返りは可能です。) 朝6時まで両足にフットポンプが付きます。 | 座ったり、ベッドの横に立つことができます。 医師の許可があれば室内を歩けます。 |
| 食事/水分 | | | 普通食です。 絶食の時間を別紙にてお知らせします。 | 絶飲食です。 | | 朝より飲水可能になります。 昼より五分粥の食事が開始となります。 |
| 留置物 | | | | 朝9時ごろの点滴の開始時に、 点滴の針を入れます。 (手は動かさず) | 膀胱留置カテーテル(尿の管です) 腹腔ドレーン(お腹の中に入っている管です) 皮下ドレーン(皮下に入っている管です) 点滴の針が入っています。 | 膀胱留置カテーテル(医師の指示があれば抜けます。) 腹腔ドレーン 皮下ドレーン |
| 清潔 | | | シャワーに入っただけです。 | | | 腹腔ドレーンが抜けるまでは週3回お体を拭きます。 洗髪は週2回、足浴は週1回になります。 膀胱留置カテーテルが抜けるまで陰部を毎日洗浄します。 |
| 観察 | | | 体重・検温を行います。 | 手術前に検温を行います。  | 心電図モニター・SpO2モニター(酸素の状態を測るもの)をつけます。 傷の状態や全身の状態を観察します。 | 排ガス・排便・全身の状態の観察をします。(退院まで) |
| 指導 | 栄養指導 服薬指導 | | | 薬剤師より服薬指導があります。 | |  |
| 教育・説明 | | | 看護師より入院生活についての説明があります。 | 手術当日は、手術予定1時間前にご家族の来院をお願いします。 術後、医師よりご家族に手術の説明があります。ご家族の方は必ず病棟内でお待ちください。 | | |
| 書類 | | | 同意書を提出してください。 入院治療計画書をお渡しします。 | | | |

上記の内容は個々の状態に応じて内容が異なります。ご了承ください。

尚、ご不明な点がありましたら看護師にお尋ねください。

入れ歯、ジェルネイル、カツラ、アクセサリは検査や処置時は取り外しをお願いします。

また、入院中のお化粧もお控えください。(顔色観察のため)

| | 手術後（回復期） | | 手術後（回復期） | 手術後（回復期～退院準備期） | 退院 |
|-------|---|-------|--|--|----------------|
| | 術後3日目 | 術後4日目 | 術後5日目 | 術後6日目～13日目ごろ | 術後14日目ごろ |
| 達成目標 | 痛み止めの薬を使用して痛みを和らげることができる。 自分の事は自分で行う事ができる。 下半身のシャワー浴ができる。 排便がある。 吐き気などの副作用が薬を使って和らげることができる。 | | 痛み止めの薬を使用して痛みを和らげることができる。 自分の事が自分で行う事ができる。 自分のことが自分で行うことができる。 下半身のシャワーができる。 排便がある。 創の感染がなく状態が良好である。 吐き気などの副作用が薬を使って和らげることができる。 | 痛み止めの薬を使用して痛みを和らげることができる。 自分の事が自分で行う事ができる 全身のシャワー浴ができる。 排便がある。 創の感染がなく状態が良好である。 吐き気などの副作用が薬を使って和らげることができる。 | 創の状態が良好に保てている。 |
| 薬剤 | 吐き気止めの内服薬 痛み止め（とんぶく・注射） 毎食後痛み止めの内服があります | |  | | |
| 注射・点滴 | 朝と夕に点滴があります。 | | | | |
| 処置 | | | | 抜鉤（創を止めているホッチキスを取ります） 創部ケアを行います。 | 退院診察・創部ケア行います。 |
| 検査 | | | | 採血と尿検査があります。  | 超音波検査・内診があります。 |
| 安静度 | 病棟内自由です。 | | |  | |
| 食事/水分 | 普通食になります。 | | | | |
| 留置物 | 膀胱留置カテーテル （医師の指示があれば抜けます） 腹腔ドレーン | | | 腹腔ドレーンを抜きます。 | |
| 清潔 | | | | 腹腔ドレーンが抜ければ、翌日より医師の許可のもと シャワーが可能になります。  | |
| 観察 | | | 排ガス・排便・全身の状態（退院まで） | | |
| 栄養指導 | 食事についてお困り毎がありましたら、スタッフ又は管理栄養士にご相談ください。 | | | | |
| 服薬指導 |  | |  | | |
| 教育・説明 | | | | | 外来予約票をお渡しします。 |
| 書類 | | | | | |